

歴史(緊張緩和と日本外交)

植民地支配から独立した国々の多くは、1955年の①_____会議に見られるように、平和共存をうたえた。1962年、②_____危機が、米ソ間の核戦争が起きる寸前で收拾されると、緊張緩和が本格化し、さらにアメリカが中国との関係を改善し、1973年に③_____から撤退すると、緊張緩和はアジアにも広がった。その一方で、西ヨーロッパ諸国は、経済統合を進め、1967年に④_____を設立した。日本では、1956年にソ連と⑤_____が調印され、同年、日本はソ連の支持も受けて⑥_____に加盟し、国際社会に復帰した。また、韓国とは、1965年に、⑦_____を結び、中国とは、1972年に⑧_____によって国交を正常化し、1978年には⑨_____を結んだ。また、1972年5月に⑩_____が日本に復帰し、その過程で、核兵器を「⑪_____、⑫_____、⑬_____」という⑭_____が国の方針になった。

